

書塾の仲間たち

第 263 回

青香書道教室（埼玉県朝霞市）



●書塾からひとこと●

私たちは都心への交通も便利な街、埼玉県朝霞市で10年前から仲間たちとお稽古に励んでいます。緑豊かな住宅地の中にある、深緑色の小さなアパートの一室が書道教室となっています。

教室では理念というほどではないですが、まずは「書」を楽しむ、ということをお稽古にお稽古に取り組んでいます。夢中になって書くうちに自分自身と向き合うことができ、個性ある表現力と創造力が身につくのだと考えています。気づいたら好きになっていった、が理想的だと思います。お稽古については、月例課題に加え春先の硬筆展や夏と秋の書道展、冬の書初め展の練習にも力を入れています。

そのほかにも硬筆・毛筆書写技能検定の受験対策にも取り組んでいます。資格を持つということは決して邪魔になりません。受験までの準備や学習してきたことは役に立ちますし、その経験がきっと財産になることでしょう。多くの生徒さんにぜひ積極的に挑戦してほしいと思っています。

また一方で遊びの時間も大切だと考え、うちわや色紙に自由に表現して世界にひとつ、自分だけの作品作りもしています。何をどんな風に書こうかとあれこれ考えるのも楽しい時間です。

最後にすべての書塾の仲間たちが、書道を通してスキルを磨き、豊かな人生を育まれること、そしてみなさまのこれから進んで行く道が明るく照らされますことを願っています。

青香書道教室 井上 青香

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。



書道と剣道の両立を続けたい

千葉県松戸市立第四中学校二年 余野愛

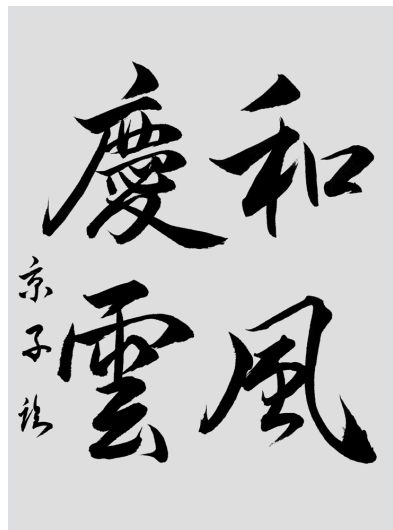
私は保育園の頃に書道を始めました。母が今の書道教室を見つけて、兄と一緒に通い始めたのがきっかけです。

初めの頃は、「書道」という言葉も知らず、ただ兄についていき硬筆だけを練習していましたが、兄が書いていた毛筆の作品などを見て自分もやってみたいと思うようになり、毛筆、硬筆のどちらも頑張って挑戦してみました。しかし、いさ書いてみると、文字は震えてしまい、筆は上手く持つことができず嫌だなと感じることもありました。それでも書き終わった作品を先生に見てもらおうと、直すところなどを優しく的確に教えてくれ、良い字があると花丸を付けて褒めてくれます。今になっても、先生が褒めてくれると次も頑張ろうという気持ちになります。

また、私は剣道も小さい頃から習っていて、これまでの試合でも良い成績を取ることができています。これは、小さい頃からの積み重ねと、今まで書道で鍛えてきた集中力が一番関係しているのではないかと私は思っています。途中で嫌になったり疲れたりした時などにも、もう一度姿勢を正して一つのことに取り組むことで、集中力が鍛えられたと思います。この集中力をこれからも活かしていきたいです。

中学校生活も残り少なくなりましたが、いつでも挑戦の気持ちを忘れることなく思いっきり頑張っていこうと思います。また、書道の時は筆に、剣道の時は竹刀に気持ちを切り替えて精いっぱい最後まで、駆け抜けていきたいです。

私と書写書道 第263回



娘と始めた書道

埼玉県草加市 中脇 京子

私が書道を始めたきっかけは、幼い頃から字を書くことが好きだったことと、字が上手になりたいという理由からでした。娘が小学校二年生の時に一緒に習い始め、今では娘も高校二年生になり、習い始めて9年が経ちました。

当初は、楷書や行書をお手本をよく見て臨書するという練習でしたが、級や段が上がるにつれて、草書や隷書、仮名などいろいろな書体を学び、書道の難しさや奥深さ、筆一本でさまざまな美しい文字を表現できることに強い魅力を感じました。同じ文字を書いてもその人の性格やくせ、個性が出てしまい、お手本通りに一語一句丁寧に書いても、なかなか思い通りに書けません。そこが書道の難しさであり、楽しさでもあります。私はこの書道の楽しさを一人でも多くの人たちに知ってもらいたいと思っています。まだまだ勉強不足ではありますが、いつか自分に自信が持てるようになら、指導者になり書の楽しさを伝えていきたいと考えています。

また、書道を通じて同じ趣味を持った仲間とも出会うことができました。年齢関係なく毎回楽しくお稽古ができることを嬉しく思っています。また共に学んできた娘も、これまで長く続けてきたおかげで、学校の展覧会での受賞や、中学校の卒業アルバムを表紙を飾ることもできました。一生残る作品として選ばれたことは私としても良い思い出になりました。

最後に育児をしながら書道続ける環境をつくってくれた家族やこれまで指導してくださった先生にこの場を借りて感謝の気持ちを伝えたいと思います。